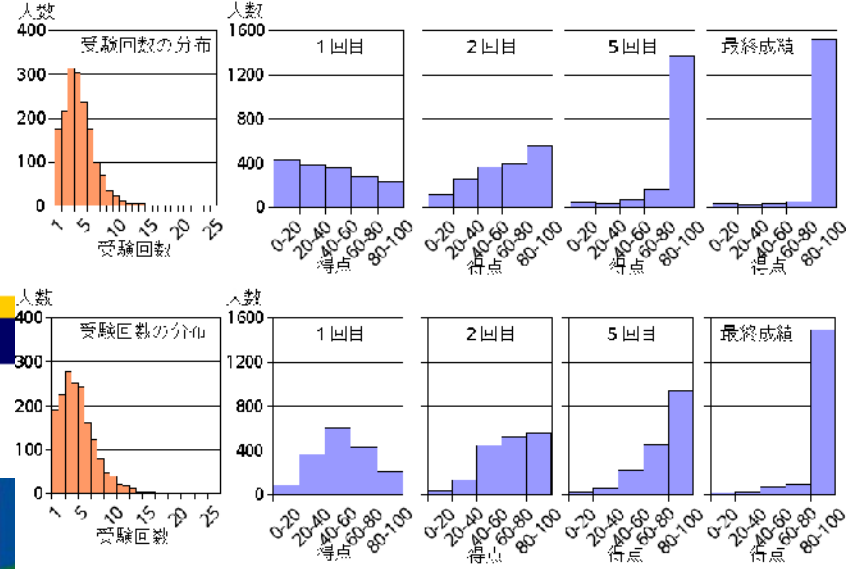


第101回 熊本大学eラーニングコンテンツいろいろ

喜多敏博

- 情報基礎
- 情報処理概論
- 看護倫理
- 健康教育論演習
- 社文研 研究室ゼミ
- 感染病態制御学理論
- 教養教育科目ベーシック
- (お馴染みの人にはお馴染みの) インストラクショナル・デザイン1, 遠隔教育実践論, 学習支援情報通信システム論, eラーニング実践演習, 特別研究1

情報基礎 (全1年次生対象)



対面講義の資料
自習時にも利用可

表計算ソフトによる
グラフ作成課題

学生数:
1800名

ティーチング
アシスタント:
80名

(TA業務管
理用のLMS
も別途利用
中)

確認テストによる
理解度チェック

環境によらない
・ StarSuite ライセンス
自宅でも利用可
・ GIMP , FireFox

情報処理概論



Kumamoto University

- 教養教育としての情報教育の一環
- 教科書指定
 - 自己学習 → 質問はeメールで
- オンライン確認テストによる繰り返し学習
 - 即時のフィードバック(解説)
 - 出席、平常点
- 最終試験もオンラインで実施
試験監督者付きで。

FOM出版(平成18年発行)

看護倫理 (保健学科)



Kumamoto University

- 看護倫理の基礎を身につける
- 対面授業
 - グループワーク、ディスカッション
- 8回分をeラーニング
 - 知識習得的な部分は、eラーニングを活用した自学自習
 - 看護協会のWebサイトの活用
 - 先生による授業導入ビデオ
 - 理解度確認の小テスト

健康教育論演習 (保健学科)



Kumamoto University

健康教育論演習

担当教員: 二田公代 (kiuada@kumamoto-u.ac.jp) 氏/根本、松本、石原助教
 期評年次: 1年前期(必須科目/単位数 1)
 概要: この講義は個人、家族及び特定集団の生活やそのライフスタイルと健康状態をアセスメントして、個人、家族及び特定集団の健康問題を解決するための保健指導、健康相談、健康教育の展開方法を学ぶ。

★6月15日 第10回の発表会の様子 (写真)
 ★5月19日 グループ表を追加しました(第6回)
 ★5月14日 第2ブロックを公開しました!

シラバス
 1 ブロック
 3 ブロック
 4 ブロック

質疑応答
 講義に関する質問、疑問などありましたら、こちらに掲載してください。
 返信は不要です。

グループ一覽
 グループ分け
 これまで2回発表するグループを2つに分け、1つは発表、もう1つは質疑応答を行います。

掲示板
 出席状況とレポート

第10回 健康教育の展開 (4~6G)

グループ分け

1G: 高層者に対する転倒予防教室	10G: 山崎 博子
2G: 子育て世代の健康増進	11G: 山崎 博子
3G: 高齢者の健康増進	

アンケート回答

各グループの発表について互いにコメントし、感想や質問を記入してください。

1G 2G 3G
 4G 5G 6G
 7G 8G 9G
 10G 11G

- 健康問題を解決するための保健指導、健康相談、健康教育の展開方法を学ぶ
 - 3ブロック、13回構成
 - PDFとリンクによる学習テキスト
 - オンライン小テストによる確認
 - 掲示板を用いたグループワーク (指導案の検討と発表準備)
 - 発表資料提出
 - アンケートを利用した他グループの評価 (相互コメント)

修士課程 ゼミでの利用(社文研)



Kumamoto University

倫理学基礎論

担当教員:田中朋弘(ttanaka@kumamoto-u.ac.jp)
所属学系:博士前期課程 法政
ジョブサシングラム
学域(研究領域):

- 学習効果は高かった!
 - 担当の先生の指導負荷も高かった!
- 運用を改善!

- 遠隔地在住の社会人受講生の参加を可能に!
(通学生7、遠隔学習者1)
- レポート(コメントペーパー)の書き方のLMS上での事前指導
- 発表資料をLMSに公開
- ゼミ発表をビデオ撮影
→ 遠隔学習者視聴
- 遠隔者は自宅でビデオ撮影
→ 学内学習者視聴
- 掲示板を利用した通学者、遠隔学習者双方による討論
- 最終レポートの受取

No.	種別	タイトル	作成者	日付
1	2000年			
3	第2巻 各修士1年の履修口頭報告(1)			
4	(無件付送)			2000年10月29日
5	発表	発表資料を公開しました。		2000年10月29日
7	発表	発表資料を公開しました。		2000年10月29日
9	発表	発表資料を公開しました。		2000年10月29日
11	発表	発表資料を公開しました。		2000年10月29日
13	発表	発表資料を公開しました。		2000年10月29日
15	発表	発表資料を公開しました。		2000年10月29日

感染症態制御学理論 (医学教育部)



Kumamoto University

感染症態制御学理論

Lecture Series "B4m": B4 Infection and Immune Control

科目主任教員: 高橋 孝幸 (Takasaki AKAKI)

分類科目: 医学部 医学系 医学 (基礎) 感染症学 (基礎) 免疫学 (基礎) 免疫学 (応用)

● 授業の目的 ●

感染症制御学を、用いた講義科目としての学習目標を、以下のとおりとする。
(1) 感染症の発生と病原微生物の関与。(2) 宿主の免疫応答と免疫系の働き。(3) HIVの感染と免疫系の働き。(4) 感染症の予防と治療の基礎。(5) 感染症の診断と治療の基礎。
[in English]

● 1st 病原微生物と感染症 (概論) ● (B4E) (英)

Titles: Infection and pathogenic organisms
担当教員: 高橋 孝幸 (Takasaki AKAKI)
※ 第1-2回は英語で講義がなされています。
Includes the lecture contents of 1st, 2nd

● 2nd 病原微生物と感染症 (免疫学) ● (非表示) (英)

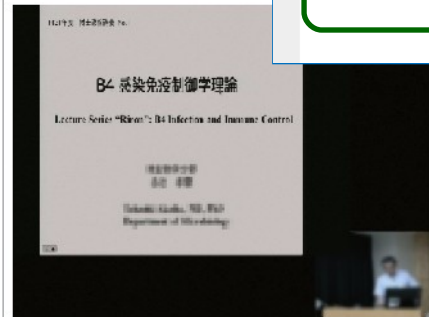
Titles: Infection and pathogenic organisms
担当教員: 高橋 孝幸 (Takasaki AKAKI)

● 3rd 免疫と宿主応答 ● (非表示) (英)

Titles: Infection and pathogenic organisms

1. 病原

自動的に再生されますので再生ボタンは特
表示されるまで1時間かかることがあります



- 博士後期課程科目 (オムニバス形式)
 - 遠隔学習者 (授業に参加しにくい学生)
 - 留学生 (英語授業も!) 全20コースで準備中!
- 講義資料配付
- 講義ビデオの視聴による受講
- オンラインテスト利用による理解度確認

教養教育科目ベーシック



Kumamoto University



ようこそ!

目標	大学における学習の準備として、熊本大学の学生として共通して身に付けるべき、基本的な大学に対する考え方・学習方法・大学生活において求められる知識を習得する。大学教育へのオリエンテーション科目と位置づけられる。具体的には、以下の3つを学習目標とする。 (1)熊本大学の歴史・活動の学習を通して帰属意識を高め、自己の大学における目標を定めることができる。 (2)レポートの作成及び情報検索の方法を理解し、大学で授業を受けるために必要な文章表現ができる。 (3)大学における環境・安全・健康の問題に関心を持ち、これらの問題に自ら積極的に取り組む姿勢を身に付ける。
担当教員	本間 里見/渡邊 あや/日和田 伸一/渡邊 淳子/永村 典子/山口 佳宏/副島 弘文/岸川 秀樹
履修学期	1年前期
単位数	1



- 入学直後に、大学生としての心構えや、大学での学び方を学ぶ必修科目。ブレンド型。
- 8パートそれぞれが、Step1 (対面授業のための学習リソース), Step2 (資料映像やリンク集などのオプションコンテンツ), Step3 (小テストや課題提出などのWeb課題)からなる。



各パートの締切日を確認してください。

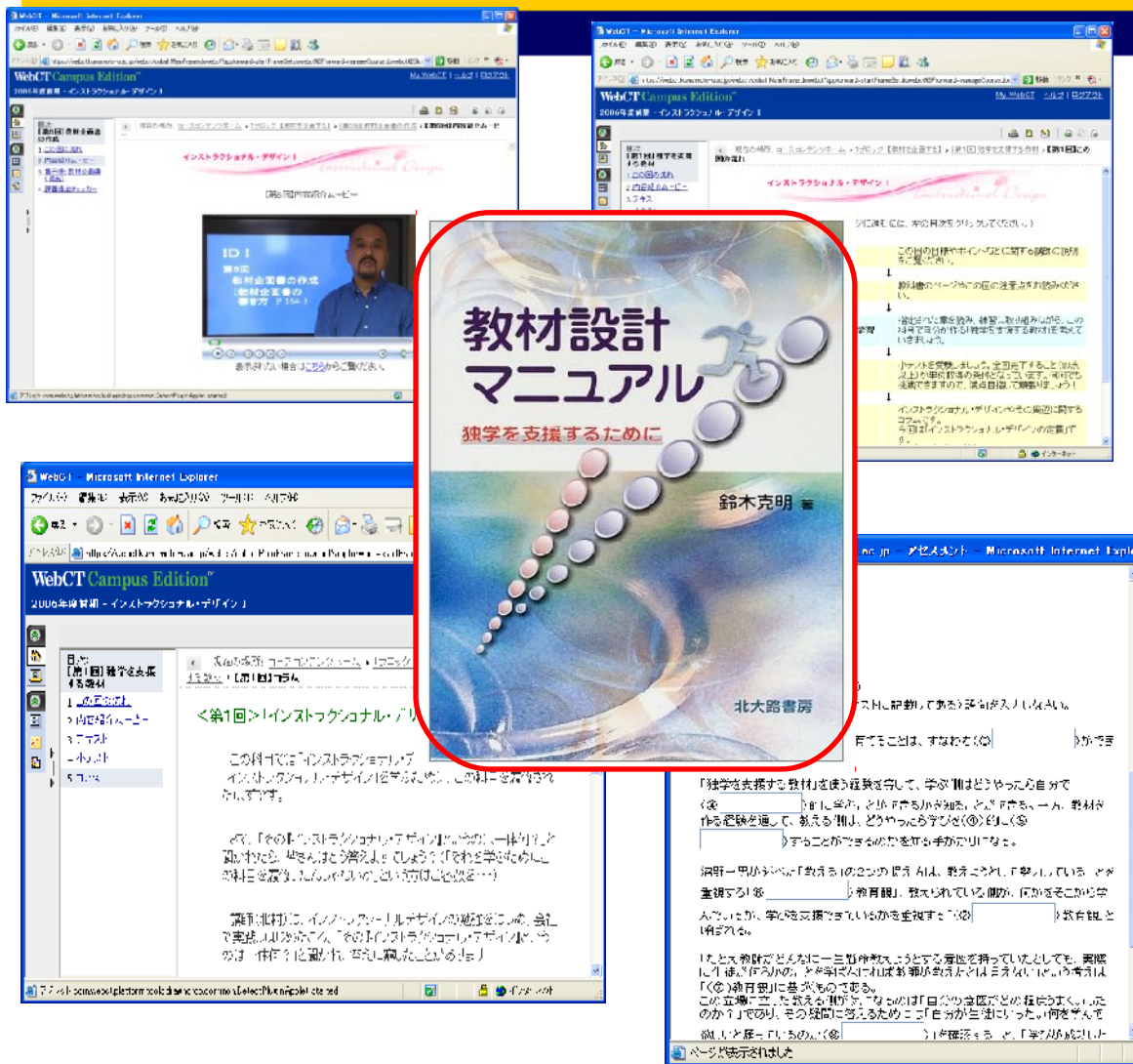


この科目のシラバスです。新しいタブで開きます。

教科書を利用する例 「インストラクショナル・デザイン」



Kumamoto University



特徴

- 「教材設計マニュアル」(教科書)をもとにIDの基本を学習
- eラーニングに進む前に「プリント教材」でIDのノウハウを確実に身につけられる
- オンラインテストの利用による、各回の学習理解度のチェック
- 「プリント」教材を自身で作成することで、学習内容の実践的に理解する

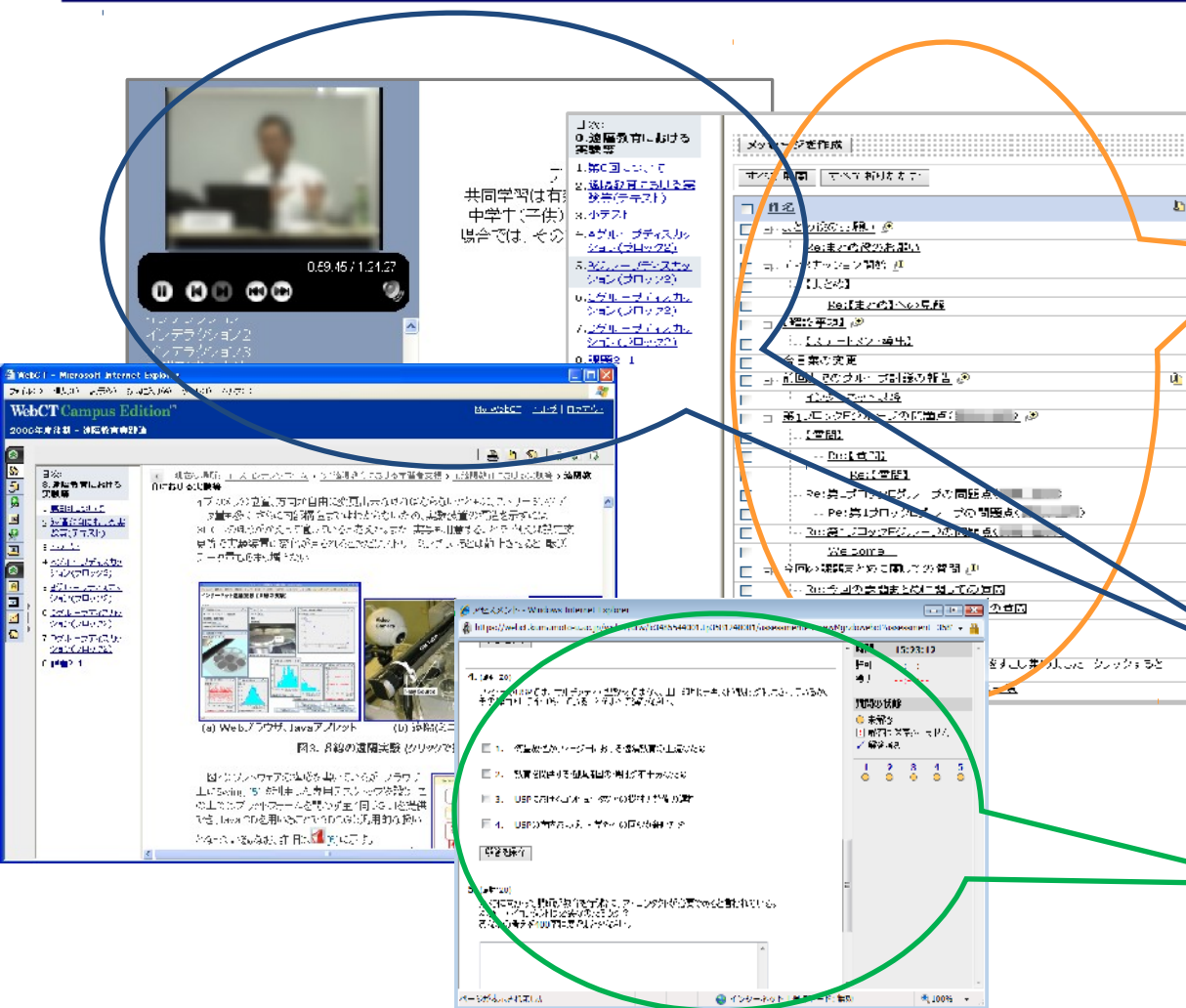
ビデオ(VOD)教材を利用する例 「遠隔教育実践論」



Kumamoto University

特徴

- オンライン・グループ学習
 - かなりの書込数
 - 遠隔・非同期の利点も難点も体験
- 集中講義
 - 熊本・東京会場
 - ビデオ教材による補講
 - 学生の意欲、能力に関心させられる
 - オンラインテストによるビデオ学習の確認



Web教材+実習の利用例 「学習支援情報通信システム論」



Kumamoto University

The screenshot displays the WebCT Campus Edition interface. The main window shows a course titled "2006年度後期 - 学習支援情報通信システム論". The left sidebar contains a navigation menu with items like "1. 学生可概要", "2. 講義と課題", "2.1. コンテンツクリエイターとしてのLMS", "2.2. 実習", and "3. テスト". The main content area shows a section for "実習: コンテンツクリエイターとしてのLMS (第4回)". Below this, there is a section for "実習用 Moodle". A smaller window is overlaid on top, showing the Moodle interface for a course named "ActionScript (Flash) のオンライン実習". This Moodle window displays a list of resources, including "ActionScript (Flash)「Test2b」の実行結果". The Moodle interface includes a calendar, a list of resources, and a section for "ActionScript (Flash)「Test2b」の実行結果" with a "開始" button and an "回答欄" (answer field) containing the text "A + B =".

特徴

● Moodle (LMS) の利用

- 学習者だけでなく、インストラクタ、クリエイターとしても実習
- 各自の専用Moodleを用意し管理者実習
- SSOで透過環境

● Webアプリで支援

- Java, ActionScript実習環境
- VOD管理ツール

仮想的なインターンシップによる演習 「eラーニング実践演習I、II」



Kumamoto University

- eラーニングの専門家を養成するためのバーチャルなインターンシップ
- 掲示板でのチームミーティング、週報提出、etc

5つのブロックに分けられた学習コンテンツ

Phase1 フェーズ1

Phase2 フェーズ2

Phase3 フェーズ3

Phase4 フェーズ4

Phase5 フェーズ5



- レポート提出
- ショウケース
 - サンプル
 - リソース
- 掲示板での質疑
-

オンラインだけでの研究指導 「特別研究I」



Kumamoto University

特別研究 I

2ブロック: 分野別の研究事例

このブロックでは、教授システム学の4つの柱で行われている研究事例について学びます。教授システム学専攻の専任教員がそれぞれ1回ずつ事例を紹介しますので、各分野における事例紹介と同時に、それを紹介する教員紹介にもなっています。どの先生がどんな研究に興味をもっているのかについてもあわせて学んでください。

このブロックは、どの回から取り組んでも構いません。
各回のタスク(掲示板への書込みと相互コメント)を全て終えると、3ブロックに進むことができます。

第6回 ID分野の研究事例(1)
担当: 鈴木 克明

新規書込み・相互コメントの
提出締切: 2006.12.25(月)

第7回 ID分野の研究事例(2)
担当: 北村 士朗

新規書込み・相互コメントの
提出締切: 2006.12.25(月)

第8回 ID分野の研究事例(3)
担当: 高橋 幸

新規書込み・相互コメントの
提出締切: 2006.12.25(月)

第9回 ID分野
担当: 〇〇〇

新規書込み・相互コメントの
提出締切: 2006.12.25(月)

第12回 IM分野
担当: 〇〇〇

新規書込み・相互コメントの
提出締切: 2006.12.25(月)

メッセージを作成

件名	件数	メッセージ	作成者	日時
回: こんな研究がやりたい (新規) 〇	3 (3未読)		〇〇〇	2006年12月25日 18:00
Re: こんな研究がやりたい (新規)			〇〇〇	2006年12月25日 17:59
Re: こんな研究がやりたい (新規)			〇〇〇	2006年12月25日 17:58
回: こんな研究がやりたい (新規) 〇	3 (3未読)		〇〇〇	2006年12月25日 17:57
Re: こんな研究がやりたい (新規)			〇〇〇	2006年12月25日 17:56
Re: こんな研究がやりたい (新規)			〇〇〇	2006年12月25日 17:55
回: こんな研究がやりたい (新規) 〇	4 (4未読)		〇〇〇	2006年12月25日 17:54
Re: こんな研究がやりたい (新規)			〇〇〇	2006年12月25日 17:53
Re: こんな研究がやりたい (新規)			〇〇〇	2006年12月25日 17:52

特徴

- 「教育工学を始めよう」(教科書)で、教授システム学の研究の進め方を学習
- 4つのIの研究事例を学習
 - 専任教員研究紹介
 - 掲示板を利用して、研究事例の発展性等を議論
- 研究計画書の作成
 - 掲示板に仮提出し、相互コメント
 - 計画書本提出は、課題ツール